

先行技術の調査

(川久保)

249(3)

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-165714

(P2000-165714A)

(43)公開日 平成12年6月16日 (2000.6.16)

(51)Int.Cl.⁷

H 04 N 5/225
5/765
5/781

識別記号

F I

H 04 N 5/225
5/781

F 5 C 0 2 2
5 1 0 A

マークコード (参考)

(21)出願番号

特願平10-331089

(22)出願日

平成10年11月20日 (1998.11.20)

審査請求 未請求 請求項の数16 O L (全 8 頁)

(71)出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72)発明者 小島 信久

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ
ノン株式会社内

(74)代理人 100066061

弁理士 丹羽 宏之 (外1名)

Fターム (参考) 50022 AA13 AC33 AC42 AC54 AC75

AC77 AC78

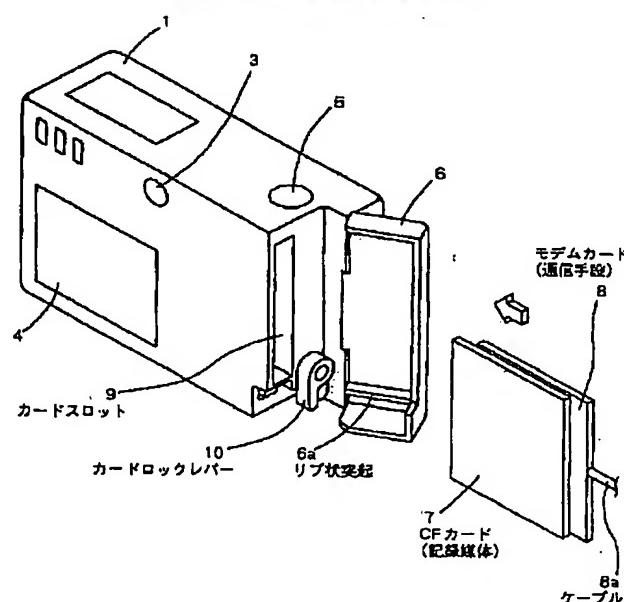
(54)【発明の名称】 電子カメラ

(57)【要約】

【課題】 電子カメラ1において、通信中に不意に通信カードが抜けて通信エラーを生じたり、モデムカード8やCFカード7等が不意に抜けないようにする手段を提供する。

【解決手段】 このため、カードスロット9の入口にカードロックレバー10を設けて、ロック位置では各カードの着脱を禁止するようにし、カード蓋6の内部には、リップ状突部6aを設けて、カードロックレバー10がロック位置以外の場合には、カード蓋6が完全に閉じないよう構成した。

実施例1のカード蓋開放状態の後面斜視図



【特許請求の範囲】

【請求項1】 撮像レンズと、該撮像レンズを通って結像した被写体光像を電気信号に変換する光電変換素子と、該光電変換素子から出力された被写体像を記憶する記憶手段とを有し、該記憶手段が取り外し可能な記憶媒体であり、外部と通信を行うための通信手段が取り外し可能な通信手段であり、前記記憶媒体または通信手段を複数内蔵可能なスロットを有する電子カメラにおいて、前記内蔵された記憶媒体または通信手段の着脱を禁止するロックレバーを有することを特徴とする電子カメラ。

【請求項2】 前記ロックレバーは、カードの着脱を禁止するロック位置とカードの着脱を可能とする非ロック位置との間を、前記記憶媒体または通信手段の挿入方向に対して、垂直面内を回動することを特徴とする請求項1記載の電子カメラ。

【請求項3】 前記ロックレバーが、前記ロック位置または非ロック位置にあることを検出するロックレバー検出スイッチを有することを特徴とする請求項1、2のいずれか記載の電子カメラ。

【請求項4】 撮像レンズと、前記撮像レンズを通って結像した被写体光像を電気信号に変換する光電変換素子と、該光電変換素子から出力された被写体像を記憶する記憶手段とを有し、該記憶手段が取り外し可能な記憶媒体であり、該記憶媒体を、少なくとも一枚以上内蔵可能なスロットと、該内蔵された記憶媒体の着脱を禁止するロックレバーと、前記スロットを覆うカード蓋とを有する電子カメラにおいて、前記ロックレバーがロック位置以外のとき、前記カード蓋が閉じないことを特徴とする電子カメラ。

【請求項5】 前記カード蓋は、該蓋の内側に突部を設けており、前記ロックレバーが前記ロック位置かつ蓋が開位置以外のとき、前記突部がロックレバーと干渉することを特徴とする請求項4記載の電子カメラ。

【請求項6】 前記ロックレバーは、カードの着脱を禁止するロック位置と、前記カードの着脱を可能とする非ロック位置との間を、前記記憶媒体の内蔵方向に対して、垂直面内を回動することを特徴とする請求項4、5のいずれか記載の電子カメラ。

【請求項7】 前記ロックレバーが、前記ロック位置または非ロック位置にあることを検出するロックレバー検

出スイッチを有することを特徴とする請求項4ないし6のいずれか記載の電子カメラ。

【請求項8】 撮像レンズと、該撮像レンズを通って結像した被写体光像を電気信号に変換する光電変換素子と、該光電変換素子から出力された被写体像を記憶する記憶手段とを有し、該記憶手段が取り外し可能な記憶媒体であり、該記憶媒体を、少なくとも一枚以上内蔵可能なスロットと、該内蔵された記憶媒体の着脱を禁止するロックレバーと、前記スロットを覆うカード蓋とを有する電子カメラにおいて、前記カード蓋が閉じ方向に移動することに連動して、前記ロックレバーがロック位置に移動することを特徴とする電子カメラ。

【請求項9】 前記ロックレバーは、カードの着脱を禁止するロック位置と前記カードの着脱を可能とする非ロック位置との間を、

前記記憶媒体の内蔵方向に対して、垂直面内を回動することを特徴とする請求項8記載の電子カメラ。

【請求項10】 前記ロックレバーが、前記ロック位置または非ロック位置にあることを検出するロックレバー検出スイッチを有することを特徴とする請求項8、9のいずれか記載の電子カメラ。

【請求項11】 撮像レンズと、該撮像レンズを通って結像した被写体光像を電気信号に変換する光電変換素子と、該光電変換素子から出力された被写体像を記憶する記憶手段とを有し、該記憶手段が取り外し可能な記憶媒体であり、該記憶媒体を、少なくとも一枚以上内蔵可能なスロットと、

前記内蔵された記憶媒体の着脱を禁止するロックレバーと、

前記スロットを覆うカード蓋とを有する電子カメラにおいて、

前記カード蓋が閉じたことを検出するカード蓋検出スイッチを設けたことを特徴とする電子カメラ。

【請求項12】 前記ロックレバーは、カードの着脱を禁止するロック位置とカードの着脱を可能とする非ロック位置との間を、

前記記憶媒体の内蔵方向に対して、垂直面内を回動することを特徴とする請求項11記載の電子カメラ。

【請求項13】 前記ロックレバーが、前記ロック位置または非ロック位置にあることを検出するロックレバー検出スイッチを有することを特徴とする請求項11、12のいずれか記載の電子カメラ。

【請求項14】 前記カード蓋が閉位置になるか、

または、前記ロックレバーがロック位置になるか、少なくともいずれか一方の位置になったことを検出する。
前記記憶媒体にアクセス可能となることを特徴とする請求項1-1ないし1-3のいずれか記載の電子カメラ。

【請求項1-5】 撮像レンズと、
該撮像レンズを通じて結像した被写体光像を電気信号に変換する光電変換素子と、
該光電変換素子から出力された被写体像を記憶する記憶手段とを有し、
該記憶手段が取り外し可能な記憶媒体であり、
外部と通信を行うための通信手段が取り外し可能な通信手段であり、
前記記憶媒体または通信手段を複数内蔵可能なスロットと、
該スロットを覆うカード蓋とを有する電子カメラにおいて、
前記カード蓋には開口部を有することを特徴とする電子カメラ。

【請求項1-6】 前記カード蓋の開口部には、開閉自在なバリアが設けられており、
前記カード蓋の開口部を開または閉状態にすることを特徴とする請求項1-5記載の電子カメラ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は電子カメラに、さらに詳しくは、着脱可能な記憶媒体または通信手段を有し、電子カメラが記憶媒体または通信手段にアクセス中に、不用意に記憶媒体または通信手段が外れることを防止する電子カメラに関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、電子カメラは、コンピュータへの画像入力機器として普及してきている。現在、電子カメラからコンピュータへ画像を転送する場合は、電子カメラとコンピュータとのシリアルインタフェイスやパラレルインタフェイス同士をケーブルで繋いで転送するのが一般的である。

【0003】しかしながら、上記のような方法で電子カメラで撮影した画像をコンピュータに転送すると、時間がかかるという問題点があった。

【0004】また、ノート型パソコンやPDA (Personal Digital Assistants) 等の携帯型の情報機器では、PCカードスロットが搭載されているものが多く、また、それらとデータ交換するために、デスクトップ型やタワー型のパソコンに、PCカードスロットやCF (Compact Flash) カードスロット等のカードスロットを増設するユーザが増えている。

【0005】そのため、電子カメラでは、カードスロットを搭載し、内蔵メモリのみではなく、PCカードやC

Fカード等を記憶媒体として使えるものがあり、撮影した画像をPCカードやCFカード等に保存してから、コンピュータのカードスロット経由で、画像を転送することができるようになっている。

【0006】このようにすることで、電子カメラで撮影した画像を、素早くコンピュータに取り込めるようになる。

【0007】また、電子カメラでは、銀塩カメラと違い、撮影フィルムを現像することなく、撮影した画像がその場で再生・確認できる。そこで、建築現場などにおいて、撮影した画像を急いで、遠隔地に送らなければならない時など、電話回線等を用いて、遠隔地に送信したりする使い方ができる。

【0008】そのため、電子カメラでは、モデムカード等の通信カードをカードスロットに挿して行なえるようになっているものもある。

【0009】また、電子カメラでは、一般的に野外で使用することが多く、カードスロット等が剥き出しになつていると、“ちり”や“ごみ”等が入り、誤動作の原因になることがある。そこで、この種の電子カメラでは、カードスロットを保護するカード蓋があるのが一般的である。そして、カード蓋が閉じたのを検出して、記録媒体等にアクセス可能となるものが多い。

【0010】

【発明が解決しようとする課題】上記モデムカード等の通信カードをカードスロットに挿入して行なえるようになっている電子カメラでは、通信中に不用意に通信カードが抜けたりすると、通信エラーが起こり、初めから通信をやり直さなければならなかつた。

【0011】そこで、ノート型パソコン等においては、PCカードが不用意に抜けないように、カードをロックする機構が付いているものがある。しかし、そのロックを検出するようなものは無かつた。電子カメラにおいては、ロック機構を持っているものが無かつた。

【0012】また、上記カード蓋が閉じたのを検出して、記録媒体等にアクセス可能となる電子カメラにおいては、有線で通信を行う通信カード等は使うことができなかつた。

【0013】本発明は、以上のような局面に鑑みてなされたもので、以上のような諸問題を解決するための電子カメラの提供を目的としている。

【0014】

【課題を解決するための手段】このため、本発明においては、以下の各項(1)～(16)のいずれかに示す電子カメラを提供することにより、前記目的を達成しようとするものである。

【0015】(1) 撮像レンズと、該撮像レンズを通じて結像した被写体光像を電気信号に変換する光電変換素子と、該光電変換素子から出力された被写体像を記憶する記憶手段とを有し、該記憶手段が取り外し可能な記憶

媒体であり、外部と通信を行うための通信手段が取り外し可能な通信手段であり、前記記憶媒体または通信手段を複数内蔵可能なスロットを有する電子カメラにおいて、前記内蔵された記憶媒体または通信手段の着脱を禁止するロックレバーを有することを特徴とする電子カメラ。

【0016】(2) 前記ロックレバーは、カードの着脱を禁止するロック位置とカードの着脱を可能とする非ロック位置との間を、前記記憶媒体または通信手段の挿入方向に対して、垂直面内を回動することを特徴とする前項(1)記載の電子カメラ。

【0017】(3) 前記ロックレバーが、前記ロック位置または非ロック位置にあることを検出するロックレバー検出スイッチを有することを特徴とする前項(1)、(2)のいずれか記載の電子カメラ。

【0018】(4) 撮像レンズと、前記撮像レンズを通じて結像した被写体光像を電気信号に変換する光電変換素子と、該光電変換素子から出力された被写体像を記憶する記憶手段とを有し、該記憶手段が取り外し可能な記憶媒体であり、該記憶媒体を、少なくとも一枚以上内蔵可能なスロットと、該内蔵された記憶媒体の着脱を禁止するロックレバーと、前記スロットを覆うカード蓋とを有する電子カメラにおいて、前記ロックレバーがロック位置以外のとき、前記カード蓋が閉じないことを特徴とする電子カメラ。

【0019】(5) 前記カード蓋は、該蓋の内側に突部を設けており、前記ロックレバーが前記ロック位置かつ蓋が開位置以外のとき、前記突部がロックレバーと干渉することを特徴とする前項(4)記載の電子カメラ。

【0020】(6) 前記ロックレバーは、カードの着脱を禁止するロック位置と、前記カードの着脱を可能とする非ロック位置との間を、前記記憶媒体の内蔵方向に対して、垂直面内を回動することを特徴とする前項(4)、(5)のいずれか記載の電子カメラ。

【0021】(7) 前記ロックレバーが、前記ロック位置または非ロック位置にあることを検出するロックレバー検出スイッチを有することを特徴とする前項(4)ないし(6)のいずれか記載の電子カメラ。

【0022】(8) 撮像レンズと、該撮像レンズを通じて結像した被写体光像を電気信号に変換する光電変換素子と、該光電変換素子から出力された被写体像を記憶する記憶手段とを有し、該記憶手段が取り外し可能な記憶媒体であり、該記憶媒体を、少なくとも一枚以上内蔵可能なスロットと、該内蔵された記憶媒体の着脱を禁止するロックレバーと、前記スロットを覆うカード蓋とを有する電子カメラにおいて、前記カード蓋が閉じ方向に移動することに連動して、前記ロックレバーがロック位置に移動することを特徴とする電子カメラ。

【0023】(9) 前記ロックレバーは、カードの着脱を禁止するロック位置と前記カードの着脱を可能とする

非ロック位置との間を、前記記憶媒体の内蔵方向に対して、垂直面内を回動することを特徴とする前項(8)記載の電子カメラ。

【0024】(10) 前記ロックレバーが、前記ロック位置または非ロック位置にあることを検出するロックレバー検出スイッチを有することを特徴とする前項(8)、(9)のいずれか記載の電子カメラ。

【0025】(11) 撮像レンズと、該撮像レンズを通じて結像した被写体光像を電気信号に変換する光電変換素子と、該光電変換素子から出力された被写体像を記憶する記憶手段とを有し、該記憶手段が取り外し可能な記憶媒体であり、該記憶媒体を、少なくとも一枚以上内蔵可能なスロットと、前記内蔵された記憶媒体の着脱を禁止するロックレバーと、前記スロットを覆うカード蓋とを有する電子カメラにおいて、前記カード蓋が閉じたことを検出するカード蓋検出スイッチを設けたことを特徴とする電子カメラ。

【0026】(12) 前記ロックレバーは、カードの着脱を禁止するロック位置とカードの着脱を可能とする非ロック位置の間を、前記記憶媒体の内蔵方向に対して、垂直面内を回動することを特徴とする前項(11)記載の電子カメラ。

【0027】(13) 前記ロックレバーが、前記ロック位置または非ロック位置にあることを検出するロックレバー検出スイッチを有することを特徴とする前項(1)、(12)のいずれか記載の電子カメラ。

【0028】(14) 前記カード蓋が閉位置になるか、または、前記ロックレバーがロック位置になるか、少なくともいずれか一方の位置になったことを検出すると、前記記憶媒体にアクセス可能となることを特徴とする前項(11)ないし(13)のいずれか記載の電子カメラ。

【0029】(15) 撮像レンズと、該撮像レンズを通じて結像した被写体光像を電気信号に変換する光電変換素子と、該光電変換素子から出力された被写体像を記憶する記憶手段とを有し、該記憶手段が取り外し可能な記憶媒体であり、外部と通信を行うための通信手段が取り外し可能な通信手段であり、前記記憶媒体または通信手段を複数内蔵可能なスロットと、該スロットを覆うカード蓋とを有する電子カメラにおいて、前記カード蓋には開口部を有することを特徴とする電子カメラ。

【0030】(16) 前記カード蓋の開口部には、開閉自在なバリアが設けられており、前記カード蓋の開口部を開または閉状態にすることを特徴とする前項(15)記載の電子カメラ。

【0031】

【作用】以上のような本発明構成により、電子カメラが通信中に、不用意に通信手段に外れることがなくなり、通信エラーを生ずる怖れがなくなる。また、ユーザはロックレバーのロック状態を確認することができると共に

に、有線の通信媒体が使用可能となる。

【0032】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態を、好適な各実施例に基づき、各図面を参照して詳細に説明する。

【0033】

【実施例】(実施例1)以下、本発明の前記課題の解決手段(1)～(7)項を下記実施例により詳細に説明する。

【0034】図1に、本発明実施例の電子カメラの撮影レンズ側から見た前面斜視図、図2に、図1の反対側から見た後面斜視図を示す。両図中、1はカメラ本体で、2は撮影レンズ、3は光電式ピューファインダOVF(Optical ViewFinder)、4はモニタ、5はレリーズ鉗、6はカード蓋である。

【0035】図3は、カメラ本体1のカード蓋6を開けて見た後方斜視図である。7は、CFカード等の記憶媒体であり、8は、モデムカード等の通信手段である。9は、カメラ本体1のカードスロットであり、記録媒体7または通信手段8の各カードを少なくとも1枚以上、カメラ本体1に内蔵可能になっている。10はカードロックレバーであり、ロック位置と非ロック位置との間を回動可能になっており、ロック位置では、カードの着脱を禁止するものである。

【0036】また、不図示のロックレバー連結部材によって、基板上にあるロックレバー検出スイッチのオン／オフを行っており、記録媒体7または通信手段8の各カードを、カードスロット9に挿入し、前記ロックレバー検出スイッチがオンになると、カメラとカードとがアクセス可能となる。

【0037】カード蓋6は、カードスロット9を保護するものであり、また、閉じ状態でグリップの一部を形成すると共に、カード蓋6内部には、リブ状の凸部6aが設けてあり、カードロックレバー10がロック位置以外の場合、カードロックレバー10に上記の凸部6aが当接して、カード蓋6が閉じないようになっている。これにより、ユーザは、カードロックレバー10をロック位置にしていないことが分かるようになっている。†

【0038】図4は、本実施例1のカードロックレバー10をロック位置にした時のカメラ後面斜視図である。

【0039】カードロックレバー10は、不図示のストッパーにより、図3の状態から、時計方向に約90度回転したところまで移動できる。そのとき、カードロックレバー10は、記録媒体7または通信手段8の各カードの一部を覆い隠すことにより、イジェクト(斥出)不可にする。

【0040】(実施例2)次に、本発明の前記課題の解決手段(8)～(10)項を下記実施例により詳細に説明する。

【0041】図5は、本実施例2のカメラ本体1のカ-

ド蓋6を開放して見た後面斜視図である。図の構成中、前記各図における同一構成要素は同一符号で示す。すなわち、7は、Fカード等の記憶媒体である。9は、カメラ本体1のカードスロットであり、記録媒体7のカードを少なくとも1枚以上、カメラ本体1に内蔵可能になっている。10はカードロックレバーであり、ロック位置と非ロック位置との間を回動可能になっており、ロック位置では、カードの着脱を禁止するものである。

【0042】また、不図示のロックレバー連結部材によって、基板上にあるロックレバー検出スイッチのオン／オフを行っており、記録媒体7または通信手段8の各カードをカードスロット9に挿入し、前記ロックレバー検出スイッチがオンになると、カメラとカードとがアクセス可能となる。カード蓋6は、カードスロット9を保護するものであり、また、閉じ状態でグリップの一部を形成すると共に、カード蓋6内部には凸部6bが設けてあり、カード蓋6が閉じ方向に移動することに連動して、カードロックレバー10に当接し、カードロックレバー10に設けてあるカム部10aにより、カードロックレバー10はロック位置に移動するようになっている。これにより、ユーザは、カード蓋を開じることで、カードロックレバー10をロック位置することができる。

【0043】(実施例3)次に、本発明の前記課題の解決手段(11)～(14)項を下記実施例により詳細に説明する。

【0044】図6は、本実施例3のカメラ本体1のカード蓋6を開けて見た後面斜視図である。図の構成中、前記各図における同一構成要素は同一符号で示す。すなわち、7はCFカード等の記憶媒体である。9は、カメラ本体1のカードスロットであり、記録媒体7のカードを少なくとも1枚以上、カメラ本体1に内蔵可能になっている。10はカードロックレバーであり、ロック位置と非ロック位置との間を回動可能になっており、ロック位置では、カードの着脱を禁止するものである。

【0045】また、不図示のロックレバー連結部材によって、基板上にあるロックレバー検出スイッチのオン／オフをしており、記録媒体7または通信手段8のカードをカードスロット9に挿入し、前記ロックレバー検出スイッチがオンになると、カメラ1と各カードがアクセス可能となる。カード蓋6は、カードスロット8を保護するためのものであり、また、閉じ状態でグリップの一部を形成すると共に、カード蓋6内部には、凸部6cが設けてあり、カード蓋6が閉じたことを検出する不図示のカード蓋検出スイッチを押すことにより、スイッチをオンすると、カメラ1とカードとがアクセス可能となる。

【0046】すなわち、カード蓋検出スイッチがオンするか、または、カード検出スイッチがオンすることで、カメラとカードとがアクセス可能となっている。これにより、ユーザは、カードロックレバー10をロック位置

にしているとも、カード蓋6を閉じれば、カメラ1が動作可能とすることができる。

【0047】(実施例4) 次に、本発明の前記課題の解決手段(15)、(16)項を、下記実施例により詳細に説明する。

【0048】図7は、本実施例4のカメラ後面斜視図である。図の構成中、前記各図における同一構成要素は、同一符号で示す。11は、カード蓋6に設けられた開口部であり、通信手段8のケーブル8aが通れるようになっている。また、カード蓋6の開口部11には、不図示の開閉自在なバリアが設けられており、カード蓋6の開口部11を開または閉状態にすることができるよう構成されている。

【0049】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、それぞれ下記のような諸効果が得られる:

(1) 撮像レンズと、この撮像レンズを通って結像した被写体光像を電気信号に変換する光電変換素子と、この光電変換素子から出力された被写体像を記憶する記憶手段とを有し、この記憶手段が取り外し可能な記憶媒体であり、外部と通信を行うための通信手段が取り外し可能な通信手段であり、前記記憶媒体または通信手段を複数内蔵可能なスロットと、このスロットを覆うカード蓋を有する電子カメラにおいて、前記内蔵された記憶媒体または通信手段の着脱を禁止するロックレバーを有するよう構成することで、通信中に不用意に通信手段が外れることが無くなり、通信エラーを起こすことが無くなり、時間を無駄にすることが無くなる。

【0050】(2) また、本発明では、撮像レンズと、前記撮像レンズを通って結像した被写体光像を電気信号に変換する光電変換素子と、この光電変換素子から出力された被写体像を記憶する記憶手段とを有し、この記憶手段が取り外し可能な記憶媒体であり、外部と通信を行うための通信手段が取り外し可能な通信手段であり、ロックレバーがロック位置以外のとき、前記カード蓋が閉じないように構成することにより、ユーザはロックレバーが確実にロック位置になっていることが分かる。

【0051】(3) また、本発明では、この撮像レンズと、この撮像レンズを通って結像した被写体光像を電気信号に変換する光電変換素子と、この光電変換素子から出力された被写体像を記憶する記憶手段とを有し、この記憶手段が取り外し可能な記憶媒体であり、カード蓋が閉じ方向に移動することに連動して、前記ロックレバーがロック位置に移動することにより、ユーザは、前記カード蓋を閉じるだけで、確実にロックレバーをロック位

置にすることができる。

【0052】(4) また、本発明では、撮像レンズと、この撮像レンズを通って結像した被写体光像を電気信号に変換する光電変換素子と、この光電変換素子から出力された被写体像を記憶する記憶手段とを有し、この該記憶手段が取り外し可能な記憶媒体であり、カード蓋が閉じたことを検出するカード蓋検出スイッチを設けたことにより、ユーザは、前記カードロックレバーをロック位置にしなくても、前記カード蓋を閉じることで、カメラは記憶媒体にアクセスが可能とすることができる。

【0053】(5) また、本発明では、撮像レンズと、この撮像レンズを通って結像した被写体光像を電気信号に変換する光電変換素子と、この光電変換素子から出力された前記被写体像を記憶する記憶手段とを有し、この記憶手段が取り外し可能な記憶媒体であり、外部と通信を行うための通信手段が取り外し可能な通信手段であり、前記記憶媒体または通信手段を複数内蔵可能なスロットと、このスロットを覆うカード蓋を有する電子カメラにおいて、前記カード蓋に開口部を設けたことにより、ユーザは有線の通信媒体を使用可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 実施例1の電子カメラの前面斜視図

【図2】 図1の電子カメラの后面斜視図

【図3】 実施例1のカード蓋開放状態の后面斜視図

【図4】 実施例1のカードロックレバーのロック時のカメラ后面斜視図

【図5】 実施例2のカード蓋開放状態のカメラ后面斜視図

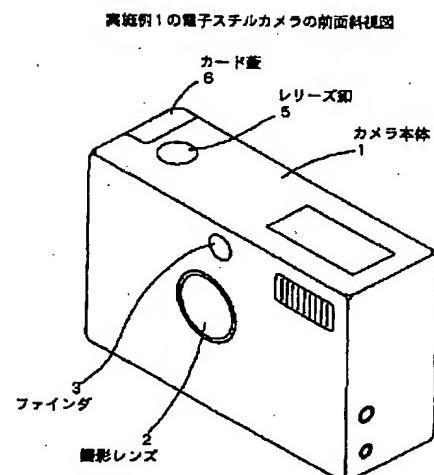
【図6】 実施例3のカード蓋開放状態のカメラ后面斜視図

【図7】 実施例4のカメラ後面斜視図

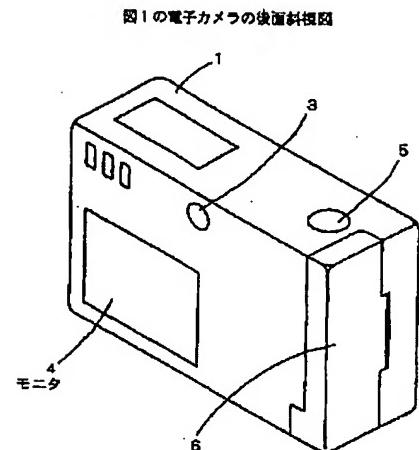
【符号の説明】

- 1 カメラ本体
- 2 撮影レンズ
- 3 OVF (光学式ビューファインダ)
- 4 モニタ
- 5 レリーズ鉤
- 6 カード蓋
- 6a, 6b, 6c 凸部
- 7 記憶媒体 (CFカード)
- 8 通信手段 (モデムカード)
- 9 カードスロット
- 10 カードロックレバー
- 10a カム部
- 11 バリア

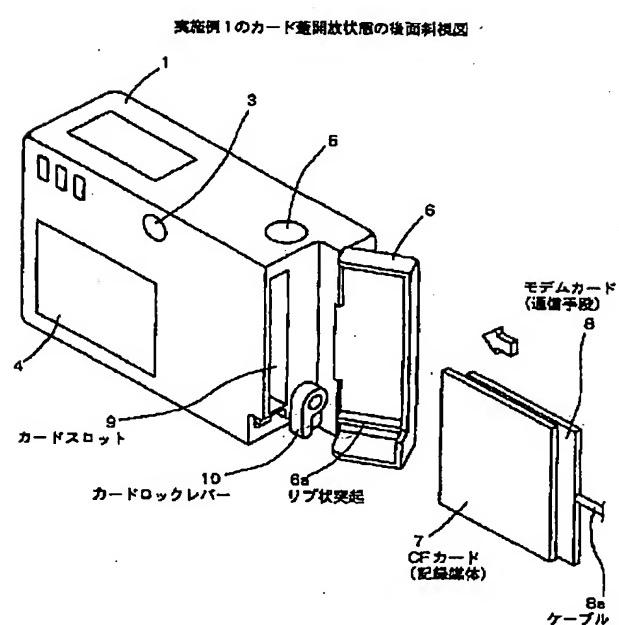
【図1】



【図2】

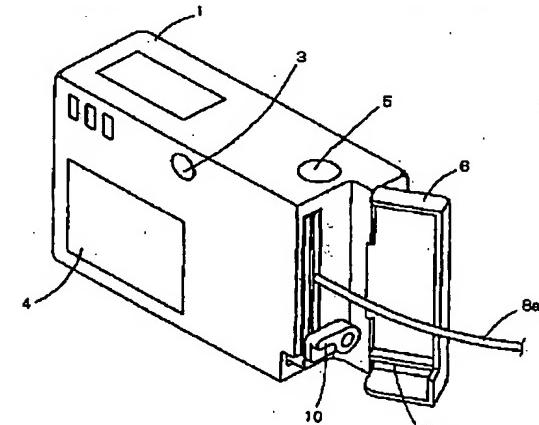


【図3】



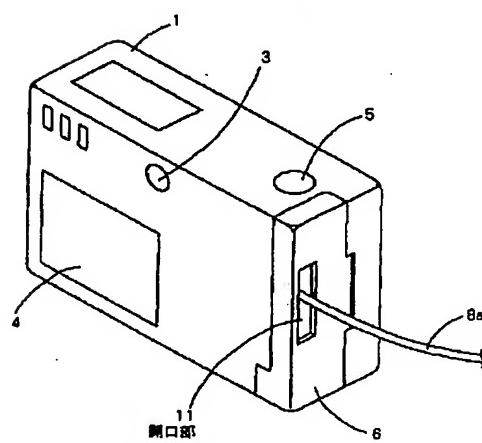
【図4】

実施例1のカードロックレバーのロック時のカメラ後面斜視図



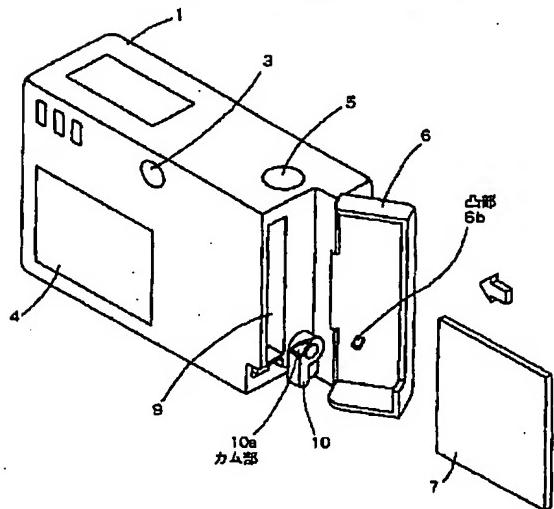
【図7】

実施例4のカメラの後面斜視図



【図5】

実施例2のカード差解放状態のカメラ後面斜視図



【図6】

実施例3のカード差解放状態のカメラ後面斜視図

